

【1回目 14時～】

1. 開催主旨〈企画財政部長〉

- 山本景市長が市長就任に掲げた、第一中学校区において「小中一貫校ではなく、小中別に整備する」との方針のもと、現契約の内容を変更する契約が可能かを判断するため、小小統合校を建設とした場合の、基本設計費、実施設計費および建設費の概算費用の試算について、市長より現契約の受託事業者である「戸田建設・石本建築事務所・シードコンサルタント特定建設工事共同企業体」に依頼された。
- 共同企業体から概算費用が示され、令和4年11月の市議会全員協議会において、その内容を報告したが、市議会より「小小統合校の建設に加え、第一中学校の改修等にかかる費用を含めた比較をすべき」との意見を踏まえ、共同企業体から出された概算費用に、比較対象とすべき概算費用などを加え、本日配布した資料を作成し、市議会へもこの資料を示したことから、本日、山本市長からこれらの経緯と内容について、説明をさせていただくというもの。

2. 市長からの説明〈市長〉

本日は、一中校区の学校の件で足を運んでくださりありがとうございます。

私より、市議会に示した内容について説明をいたしますが、明日はPTA等が主催で、学校にて保護者等を対象に説明会を実施します。

市としては、これまでと違って、市長が一定けじめをつける、責任を取るということで、前面に立って市民の皆様に説明をして、しっかりみんなの意見を聞くという体制に変わっているということは、まず冒頭で申し述べます。

今日お手元に資料をお配りしていますが、一番裏をご覧ください。約2年前に実施したアンケートで、当時であっても施設一体型小中一貫校に関して、多くの市民の皆様、保護者の皆様は、強い不安や不満をお持ちであったという事実があります。

同じく2年前において、私が市会議員時に発案し、共同提出者として市会議員の松村さんと共に、市民の皆様の声を真摯に聞くべきであると考えて、議会に対して住民投票の条例案を提出しました。

## 市長説明会（R4/12/3） 1 回目議事概要

議員提案としての住民投票は議会において反対多数となり、その後、直接請求という市民の皆様が直接住民投票の実施を求める条例案にかかる署名を集め、有権者の11%以上にもものぼる7,000を超える直筆の署名が集まりました。結果として当時の市長は住民投票に反対との意見を付けた議案を議会に提出し、反対多数で住民投票は実施されませんでした。

そして1年前、交野市議会に対して、前市長の任期を大幅に超える契約期間となる小中一貫校の設計・施工を一体とした契約の締結にかかる議案が提出され、議会についても議決がされました。

そして、この9月、住民投票を実施しないことや、解体、設計、建設まで一体で契約するというやり方がおかしいと反対している住民の皆様、また反対している議員の皆様と話し合い、私が市長選挙に挑み、9月4日に市長選が実施をされ私が当選した次第です。

9月20日の初当庁後間もなく、戸田建設等に対し契約変更できないかという協議を開始しました。私の考えとしては、前市長の任期は9月17日までですから、解体と設計までの契約とすべきであり、建設は別にすべきだと思っています。ただ、全部をまとめた、市長任期を大幅に超えた契約となっているため、契約内容の変更はできないかという協議を開始しました。

なお、契約解除は法的にはできますが、子どもたちが既にみらい小に通っているにも関わらず、全て白紙にして違約金を払って、となると相当スケジュールが遅れることから、契約解除はせずに契約変更の協議を開始したという次第です。

なお、違約金に関しては、他市の例で言うと、近江八幡市のように70億円の役所建設工事が始まってすぐに止めたというケースであっても5億円以下です。

私は、PTAの会長、学校運営協議会、校区福祉委員会や区長に対して説明を実施しました。また、全校生徒にも速やかに説明したい、もっと多くの市民の方にも説明したいと言っていました。

理由は分かりませんが教育委員会に連れて行かれた場所のほとんどが一貫校に賛成の方であり、意図的に私を賛成の人ばかりのところに連れて行って説明をさせたとわざるを得ないと考えています。

## 市長説明会（R4/12/3） 1回目議事概要

戸田建設等からの回答を受け、皆さんに説明する前に、二元代表制を踏まえて議会に説明し、PTAの会長にも説明し、本日の説明に至った次第です。

事前にPTAの方が学校でアンケートを実施され、中学校は数枚しかなかったですが、小学校は半数以上の児童の保護者がアンケートに協力してくださり、今、保護者の意見としては賛成、反対、どちらでもない、の三つに分かれていて、反対が一番多いです。

そしてまた、小中一貫校については皆様もご承知の通り、もう5～6年も議論していて、それでもこれだけ反対の方が多い。今からリセットできる、できないとの話もあるとは思いますが、市政が混乱した、教育行政が混乱した責任というのは当然市長にあります。市長にもありますが、教育委員会の責任も重大であり、小中一貫校の方向性が決まった段階で、教育長、教育委員の皆さんもけじめをつけるべきだと言わざるを得ない、というところがあります。

資料のご説明をしますが、施設一体型小中一貫校については、解体と造成、実施設計についてはおおよそ終わっているという状況の中、基本設計、実施設計と建設工事の費用を比較したもので、解体費などは入っていません。一体型小中一貫校で6億9,000万円、小学校統合校につきましては45億4,400万円と、小学校統合校は高いと思うかもしれませんが、平米単価40万円で今の小中一貫校の建物と同じぐらいのクオリティのものを建てるという前提での見積もりであり、決して従来型の学校を建てるというものではありません。

これに対して、一中はもう築60年が経過しており、中規模改修、大規模改修、長寿命化改修や改築（建て替え）の場合の比較であり、財政負担を考えますと、小中別々となれば、一中に関しては、長寿命化改修をした方が市の負担は軽くなり32億9,400万円になるというのが実態です。入札をすれば費用は下がる可能性も十分にあるというものです。

今回の小中一貫校の公募に関しては、基本設計を請け負った業者がデザインビルドで設計・建設に参加できるという内容になっており、結果としてデザインビルドに戸田建設と請負業者の共同企業体しか参加しませんでした。結果として小中一貫校については、競争原理が働いていないわけですが、当然一中だけ改修となった場合については、入札を実施しますから想定よりも安くなる可能性があります。

また、この費用負担を見ると、一貫校と小中別々との市の負担があまり変わらないと読めてしまいましたが、ここに出てこない費用も当然あり、小中一貫校にすると、一中の建物自体は不要になりますが、住民の意向を汲むと売却は非常に難しく、転用ということになります。転用費用は含まれていないので、将来的には転用費用がかかります。

小学校の統合に関しても、中学校のプールを改修する費用や、場合によっては戸田建設等が違約金を請求してきたとなるとその費用もかかりますが、裁判所の判断となりますので、明確に金額を示せないというのが現状です。

費用面はこの表に非常にわかりやすく書いていますが、他の要素として、今、みらい小学校に通っているお子さんの保護者の皆さんは、反対する方の中で特に懸念をされているところで、大きく分けて三つあります。

まず運動場が狭いということに関しては、別に一貫校にしようが小学校単体にしようが運動場の面積はそれほど変わらないですが、小学校だけで運動場を使うのか、小中全員1,100人以上の子どもたちが運動場を使うのかで考えれば、同じ面積でも1人あたりの面積は小学校単体で行った方が運動場は広くなります。

プールに関しても、小学校単体の場合については、プールは敷地内にあり従来通りです。施設一体型小中一貫校の場合については、建物の上にプールを建てられる構造になっておらず、体育館（屋内運動場）の上にプール建てるにも斜線規制などがあり建設が難しい。今でも狭いと言われている運動場をつぶしてプールを作ると言っても一貫校では難しいというのが現状です。

3ページのところで、一貫校をやめて小学校単体で建設をした場合の期間がどれくらいかかるのかは、市長選挙の頃から質問を受けており、1~2年遅れる、なぜならば、一貫校の4階部分をなくすとかそういうレベルのものではなく、設計からやり直さないといけませんので、ここにはいろんなパターンを書いています。普通に考えれば基本設計と実施設計をやり直す。今の一貫校もそうですが、基本設計に1年、実施設計に1年かかっており、その後建設となりますので、基本設計と実施設計をやるには合計2年遅れます。

そうすると、みらい小学校に通っている5年生や6年生が新しい学校に通えないこととなります。私も今年度はみらい小学校のフェスタに行きお話を聞きましたが、正直なところ小学生は、1~3年生はそこまで意思表示される子は多くなく、高学年

の子には「小中一貫というか新しい学校を作ってほしい」「分離とか一緒とかそういう話ではなくとにかく新しい学校を早く作ってほしい」「交小をつぶしたのだから、早く新しい学校を作ってもらわんと困る」など、私に対して話す小学生もいたので、少し保護者の声と実際に学校に通っている子どもたちの声には違いがあり、ただ子どもたちにとっては1日も早く新しい学校を期待している子が多いというのが実態です。

しかし、学校ともなると使う期間は1年や2年ではなく最低40年は使えますし、長寿命化をすれば80年は使うものです。文部科学省に話を聞いても基本的には学校は長寿命化をするものであると。やはりもうちょっと長い目で見た方が私はいいと思っています。

最後になりますが、合わせて付け加えて申しますと、我が国においては二元代表制です。市長は選挙で明確に小学校と中学校を別にすべき、運動場が狭い、プールがないとおかしい、いきいきランドのプールを使用すれば他の学校はどうするのかという主張をして、当選しております。これは民意です。

一方でもう一つの民意があります。それは住民ではなく市議会です。二元代表制ですので、議員は15人、私が辞めたので14人です。議員は議員で議会としての民意があります。一般的に市長が予算案や条例案を作って議会に出して議決を得て、議決を得た後に執行するのが市長側もしくは教育委員会側ですので、一般論としては市長側が有利です。

ただし、今回の施設一体型小中一貫校については、前市長のときに契約はもう既に結ばれており、議会にて議決もされています。その契約を変更しようと思って、市長である私に変更の仮契約を締結して議会に契約変更の議案を出しても、議会がそれを否決すれば変更はできない。施設一体型小中一貫校についてはそのまま建設がされてしまうという状況です。今回皆様には戸田建設等との契約変更に向け小学校と中学校を別にするという案をお示ししましたから、今回、PTAの方がアンケートを実施されました。一定保護者がどう考えているのかについても触れましたが、しかし最終どうするのかを決めるのは市長であるとともに、市議会です。

現状このような費用比較が出たということで、選挙で選ばれた市長が先頭に立って、率直に、市民の皆様には現状をこのような形にてお知らせをした次第です。いず

れにせよ今回、小中分離案ということで皆さんに説明をして、最終的には時期が来ればどうするのかということを決めていきたいと思っている次第です。

保護者の意見も非常に割れているという現状ですので、併せてそういったこともお知らせをしまして、市長からの説明とします。

以上でございます。

### 3. 質疑応答

〈市民1〉

私は現在、みらい校区の福祉委員やコミュニティスクールの委員もしており、誤解があってはならないので発言します。

私達は、開校準備委員会からずっと小中一貫校をやっていこうと議論してきました。そして最終的には議会での議決や予算が通り、学校名が決まりました。私達も長小と交小を一つの校区にして、将来みらい学園という形で進めさせていただくという形で進んでいる中、市長が変わりました。

教育委員会は一貫校に賛成のところへだけ連れて行ったと市長おっしゃいましたが、決してそうではないということを皆さん方にはご理解いただきたい。

質問として、なぜ住民投票ができなかったのか、その理由を聞きたい。

〈市長〉

私は市長に就任してから教育委員会等をお願いをして、説明会を開いておりますが、理由は知りませんが賛成者がほとんどを占めるところにしか連れていってもらえませんでした。そこを決めたのは、教育委員会等であるので、なかなか私の立場ではちょっと回答はできません。もしかしたら私の考えを変えようと思って、意図的に教育委員会がやったことぐらいしか私には思えないとも思っていますし、その考えについては、今回みらい小学校のPTAの皆様がアンケートを実施して、その考えは確信をした次第です。

本来なら教育委員会という立場であれば、もう少し公平に色んなところに連れて行って、意見交換させるべきだというように強く思っています。

住民投票は、制度上、署名で有権者の50分の1が集まれば、議会に条例案が出てくるのですが、前市長は住民投票に反対の意見をした上で、小中一貫校に賛成の立場の議員が住民投票には反対だということで住民投票条例案は否決されました。

〈市民 2〉

今回の9月の選挙で山本市長が誕生したのは、多くの市民が掲げられた五つの公約、特に小中一貫については中学と一緒にしないでいいと真っ先に掲げられている。もう一つはゆうゆうバスで、十分市民の方が納得してではなく、一方的に前市長が強引に進めたと。今になって皆さんが真剣にようやく考え、小中一貫について不安に思うことの方が多いいじゃないですか。小学校が一つになるのはやむを得ないが中学校と一緒にする必要はないと思います。中学校と一緒にすることをやめればプールもできる、運動場も使えることからすれば、2年、3年遅れても関係ない。

〈市民 3〉

先ほど市長から市政の二元代表制と言われましたが、交野市議会議員15名のうち、3年前の選挙で小中一貫校を公約にした議員は1人もおりません。ですから民意はどうかといったら直近の市長選挙、これが民意だということです。

教育委員会に尋ねたいのですが、今日出された資料は信用できない。一中校区の保護者自ら情報公開をして、集計したものが出ています。文章標記で言うと、期待のみ書いている人は5人で8%。不安のみを書いている人は32人で50%。どちらも書いている人は41%。すなわち90数%の人が不安であると言っているのです。これに対して、教育委員会はどのように答えられるのか。

今日、小中一体校と別々整備で比較表がなぜ出ないのか。市民が自ら計算しており、新築小中一貫校では、児童1,015人で敷地面積2万2266平米、1人当たり21.9平米。小小新校だったら700人で同じ敷地面積ですから、1人当たり31.8平米。すなわち、小中一体校の1.4倍の敷地面積があります。一中は予想生徒数ですが315人、1万6707平米で、一人当たり53.0平米。すなわち小中一体校の2.9倍の敷地があると書いてあります。この数値は本当なのですか、教育委員会に質問したい。

これが事実であるならば、不安の中で述べられている敷地面積が狭いなどについては、解消すると教育委員会は考えているのか、考えていないのか。

市長への質問は、建設会社からの回答だと思いますが、基本設計・実施設計に24ヶ月、建設工事期間は約16ヶ月と書いてあります。小中一体校であれば24ヶ月建設にかかる。ですから小小の新しい学校ですから短くて済む。では基本設計、実施設

## 市長説明会（R4/12/3） 1回目議事概要

計を20ヶ月に縮めてほしいという要請は出されないのか。そうすれば4年後ではなく、3年後に開校することができます。

### 〈市長〉

今回の契約変更先としては、戸田建設等のグループしかなく、今更、契約解除して他の業者にということはできません。そこはわかってほしいです。

戸田建設等に質問を投げかけたところ、合計40ヶ月、3年を超えてしまい実質4年であるので、結果として2年は遅れるという回答をしたという次第です。

示したスケジュールから遅れてしまうと違約金や賠償という話になるので、おそらくそういったリスク要因を考慮して、こういう2年遅れということを示したのかなというふうに考えています。

### 〈司会〉

教育委員会にご質問された内容は、別途教育委員会の方でご確認いただければと思います。

### 〈市民4〉

今日の市長説明会はどのように周知したのか。私は交野市のホームページに載っていると教えられて知りました。どのように広報されているのか。市長選挙後に非常に大事な、市民みんなが注目している説明会です。戸田建設との話はどうなっているのか、学校はいつごろできるのか、どういう方向とするのか、市長の考えはどうなのか。それをホームページだけで周知するのか。

公約もそうだし、ポスターを見ると、市民の声を大事にするのではないのか。今後、市民説明会を大いにしてください。それと併せてしっかり広報してください。

### 〈市長〉

今日の説明会、再三再四説明会を開いてくれと言って、結果として土壇場になってこの説明会が決まりました。議会の全員協議会での説明は11月半ばでしたので、その後になって決まりました。私はホームページとは別に自分で費用負担をして、チラシを作って新聞折り込みをしましたので、市民も知る機会があったのかなと思っています。



## 市長説明会（R4/12/3） 1回目議事概要

### 〈司会〉

広報につきましては、今回は日程も急というところでご案内の方法が不十分だったというところは、ご意見を参考にさせていただきます。

### 〈市民5〉

公立学校で言えば50年前に建てられた建物が長寿命化改修で80年まで使っていけるということで、2年遅れるというのは大変長いとは思いますが、私としては長寿命化を見据えて基本設計の見直しをしていただけたらという思いです。

質問は、市長が教育委員会はなぜ一貫校に賛成のところばかり連れて行ったのかなど色々言われているので、教育委員会の弁明をお聞きできたらと思います。

### 〈教育委員会事務局〉

市長は公約を掲げ当選され、その後から教育委員会としてもそれを実現するための課題等について検討していくことが当然だと考えています。ですから随時市長とも相談しながら進めてきたところです。その中で校区福祉委員会あるいは学校運営協議会など、賛成の方が多いからというわけではなく、学校に一番密に関わっておられる方のところに行っていたいただいたものです。

今回の市民説明会や明日のPTA保護者説明会も、市長からぜひやっていきたいということがありましたので、市長と調整しながら進めているのが現状です。

### 〈市民6〉

みらい小の子どもたちと岩船小に通っている何十人かの子どもたちの通学が4月から始まり、教育委員会の方、地域の方、一中の先生方も含めて朝7時半から見守ってくださいます。まずお礼申し上げたいと思います。

私も孫が一中校区にいるので保護者の1人ですが、大前提は一日でも早く学校は作ってあげて欲しい。でもプールのない学校はちゃんとした水泳指導ができないと思いますので困ります。中学生のグラウンド、一中の子どもたちは小中が一緒になると3分の1の面積となるようで、そんな狭いところでクラブ活動もできないと思うので、プールは作る、中学生の生活を保障するというのを考えていただきたい。議会や教育委員会定例会、審議会など全部ではないが傍聴させていただいた。国や府の公共施設を減らす方針などがあり、教育委員会の方もいろんな保護者の意見を聞いてお

## 市長説明会（R4/12/3） 1回目議事概要

られたと思いますが、市民の思うようなところにできなかったところが多々あったかなと思います。今回の選挙で改めて考え直す機会を得たわけで、本当の子どもたちの気持ち、保護者の何十年も先の思い、大事な9年間の生活を考えて、考え直したいと思っています。

### 〈市民7〉

1点目、先ほど運動場が狭い、プールがないというお話の中で、不安材料が3点あるとあったが、1点しかお聞きできなかったのも、あと2点をお聞きしたい。2点目は、今、市長と議会に意見の相違がありますが、今後それが続いても、どのように改革しようとしていることを進めていくのか、見直しをお聞きしたい。

### 〈市長〉

アンケートで3つの意見があるという話は、運動場が狭いところと、プールの件と、あともう一つが小学校と中学校が一緒であり、本当に一緒にするのか別々で今まで通りか、どちらが良いかという、本当に難しい話だと思います。

おそらく保護者の方も自分たちは小学校と中学校は別だったと思います。だからそれを念頭に、やはり小学校と中学校は別の方がいいという風に思っている方が多くを占めており、結果として反対される方々の意見の中で、小学校と中学校を一緒に嫌だ、だから反対という方が多いのだと思っています。

もう1つの議会との関係でいくと、私が市長になる前で小中一貫校賛成が10人、反対は5人で、そのうち私が辞めたので4人になっています。議会とは今も話していますが、個別にどの人が賛成とか反対というのは私の口からはいえないところです。

本来なら一定、市長選挙で民意が示された、と市長としては言いたいところですが、議会は議会で公約にはしていないが一応選ばれているので、一定彼らの意見は尊重しないといけないと思っています。なお、市議会選挙については、来年9月にありますが、小中一貫校の建設工事自体はおおよそ4月ごろから始まるというところで、大変市長としては対応に苦慮しています。

契約を変更するには議会の議決が必要で、でも議会選挙は来年9月です。文科省に直接確認すると、学校は長寿命化すべきで2つの学校を1つにすべきと言っている訳ではありません。基本は長寿命化と言っているが、築50年で潰してしまったので、

では私はどうするべきかという話になってくると、まだ実は決めかねている状況です。

しかし、過去から教育委員会に対しては市民説明会を開くよう求めており、遅くなりましたが今日になったので説明をいたしますが、現状としては大変今後の進め方については苦慮しており、結論については出ていないという状況であるということについてはお知らせをして、ご理解賜りますようお願いいたします

〈市民8〉

市長はじっくりと一中をご覧になって、現状を十分ご存じですか。私は中学校に訪れることも多いですし、私たちの年代や私の子どもの年代も、ずっと一中にお世話になっていますが、果たして今の一中が長寿命化改修によって子どもたちが通いたい中学校になるのかと考えたら、私はなかなかそういう風に思えない。ですから市長に一中をじっくりご覧になったかどうかお尋ねしたい。

〈市長〉

コロナ前には学校公開が行われているので、何度も足は運んでいます。コロナ後はなかなか機会がないので、体育祭などのときにはお伺いしています。

過去、特に交野市に関しては一中に限らず他の学校も、本来やるべき計画的な修繕とかやっていないのです。屋上防水だと不十分ですし、外壁の塗装もめっちゃめっちゃ、トイレについてもほとんど改修していない。ですから結果として非常にこんな建物ではダメというご意見が出てきても仕方がないと思っています。

過去、私は中田元市長にもお会いして、今の学校統廃合に関して意見を求めたのですが、せっかく耐震工事をやってエアコンもつけた学校を潰すのか、まだまだ使えたと、また、文科省の意見としても基本的には鉄筋コンクリートの耐震工事済みの建物については長寿命化が基本であるというふうに言っています。よって、長寿命化に関しても可能であり、わざわざ潰して建て替えるよりも、基本としては今後とも構造上危険にならない限りは修理をして使い続けるべきだと思っていますし、一中校区だけ綺麗な一貫校を建てて、他はそのままというのは許されないと思っています。原則として、一中について私の考えとしては、長寿命化改修をすべきだと考えておりますし、その前提として一中については見に行くなども当然しているということです。

〈市民9〉

今現在、一貫校の計画というのは止まっている状況という認識をしていいですか。それとも令和5年4月でもう建設が始まってしまう状況なのか、知りたいです。

〈市長〉

12月3日時点での話ですが、施設一体型小中一貫校の契約については残っており、契約に基づいて、撤去工事等もしくは実施設計等、現時点において進んでいます。

あくまで、仮契約を結び、その後昨年12月議会で当時の議会として議決され、前市長とはいえ契約を結んでいます。私は契約変更したいと思っていますが、契約変更といっても当然議会の議決がなければ有効になりません。現時点においては進んでいるという状況です。

以上